

第26期岡山県産業教育審議会

－ 第2回会議 －

日時 令和3年2月4日（木）

10:00～12:00

場所 県庁3階大会議室

1 開会

2 報告及び審議

(1) 報告

ア 第1回専門委員会

イ 実施済みアンケートの分析

(2) 審議

ア 社会の変化に対応する職業系学科の在り方

イ 建議の項目

ウ 審議会・専門委員会の開催及び審議内容

(3) その他

3 その他

4 閉会

第26期岡山県産業教育審議会委員名簿

任期 令和2年10月20日から令和4年3月31日まで

	氏名	役職名
1	考藤 悦子	岡山大学大学院教育学研究科特任教授
2	草野 浩一	岡山県総合政策局政策推進課地方創生推進室長
3	剣持 敏朗	岡山県農業協同組合中央会専務理事
4	河野 慶治	岡山県議会議員
5	後藤 博幸	岡山県産業労働部労働雇用政策課長
6	武田 浩一	株式会社廣榮堂代表取締役社長 岡山県産業教育振興会副会長
7	波多 清美	株式会社富士麵ず工房取締役 岡山商工会議所女性会副会長
8	服部恭一郎	日本オリーブ株式会社代表取締役会長 岡山県産業教育振興会会長
9	福田 早希	西日本電信電話株式会社岡山支店担当課長 一般社団法人システムエンジニアリング岡山会員
10	福原 洋子	高梁市立高梁中学校長
11	宮田 明美	公益社団法人岡山県看護協会会長
12	山根 康史	岡山県立高松農業高等学校長 岡山県高等学校産業教育連絡会会長
13	吉川 幸	岡山大学全学教育・学生支援機構准教授

13名（五十音順）



教高職第 377 号
令和 2 年 10 月 20 日

岡山県産業教育審議会会長 殿

岡山県教育委員会

社会の変化に対応する職業系学科の在り方について（諮問）

産業教育振興法（昭和 26 年法律第 228 号）第 12 条の規定に基づき、次のとおり諮問します。

記

1 諮問事項

社会の変化に対応する職業系学科の在り方について

2 諮問理由

職業系学科は、高等学校の職業教育を主とする専門学科であり、本県では、主に専門高校において開設され、各教科の指導を通して関連する職業に従事する上で必要な資質・能力を育み、社会や産業を支える人材を輩出してきました。

今日、我が国では、AI や IoT が広がるなど、Society5.0 とも呼ばれる新たな時代の到来が、社会や生活を大きく変化させ、情報化やグローバル化も進展するなど、予測困難な時代を迎えています。

このような中、職業に必要とされる知識・技術も絶え間なく変化し高度化しているため、これに対応した人材の育成や、深刻な少子化・高齢化の状況の中で、特に地方においては地域の産業を担う人材の確保が課題となっています。

加えて、新型コロナウイルス感染症の影響も大きく、依然として社会情勢が安定しない中、リモートワークやオンライン学習など、急速に ICT の活用が進んだことで、産業界や教育界等においても、就労形態や教育活動に大きな変化をもたらしています。

ついては、こうした社会の変化に対応する職業系学科の在り方について、任期の間、次の視点を踏まえ、調査審議いただきますようお願いいたします。

- 地域や産業界等のニーズに応じた、社会の第一線で活躍できる専門的職業人をどのように育成していくか。
- 企業や大学、研究機関等と連携した教員の資質・能力の向上や教育内容・指導方法等の工夫・改善、産業教育施設・設備の充実による質の高い職業教育をどのように推進するか。

諮問事項

「社会の変化に対応する職業系学科の在り方について」
～地域や産業界との連携による専門的職業人の育成～

新学習指導要領の職業に関する教科の改訂

- 育成すべき資質・能力の明確化
 - (1)知識及び技術(2)思考力・判断力・表現力等
 - (3)学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 地域や社会の発展を担う職業人の育成
 - (1)持続可能な社会の構築(2)情報化の一層の進展
 - (3)グローバル化

第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」 (内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部)

- 高等学校の機能強化等
 - ・地域への課題意識や貢献意識を持ち、将来、地域ならではの新しい価値を創造し、地域を支えることができる人材の育成
 - ・地域経済の活性化を担う人材を養成する専門高校等と、地方公共団体や産業界、大学等が連携・協働による実践的な職業教育の推進
 - ・実験・実習に必要となる産業教育施設・設備の充実を図り、質の高い専門的な教育の推進

岡山県立高等学校教育体制整備実施計画(平成31年2月)

- 新たな時代に対応した魅力ある高等学校づくりの方策
キャリア教育・職業教育の充実
 - ・体系的・系統的なキャリア教育の充実
 - ・インターンシップ等やデュアルシステムの充実
 - ・職業教育の充実

- 高等学校教育の基盤整備の方策
職業系学科
 - ・農業、工業、商業、家庭、看護、情報、福祉の各大学科の特色を生かし、地域や産業界等のニーズに応じた人材を育成

LM

職業系学科の魅力づくり(R元～3年)

RM

リーディングモデル

- 時代の進展に対応する人材の育成
大学、企業、研究機関等との連携
 - ・岡山工業 STEAM教育
 - ・興陽 スマート農業
 - ・岡山東商 起業・継業
 - ・倉敷商業 観光産業振興

AI

人口減少

IoT

少子・
高齢化

Society5.0

地方創生

リージョナルモデル

- おかやま創生を担う人材の育成
地域との連携の在り方等の研究
 - ・笠岡工業 地域の担い手づくりの確立
 - ・笠岡商業 地域資源を生かした学びの実践による人材育成
 - ・高梁城南 地域創生人材の育成

社会や産業界等のニーズに応じた専門的職業人の育成

質の高い職業教育の推進

教員の資質・向上

指導内容の工夫・改善

施設・設備

専門的職業人を育成するための各職業系学科のあるべき姿

農業に関する学科

工業に関する学科

商業に関する学科

家庭に関する学科

看護に関する学科

情報に関する学科

福祉に関する学科

総合に関する教育

第26期岡山県産業教育審議会第1回専門委員会

令和2年12月22日(火) 9:30~12:00
県庁分庁舎5階506会議室

出席委員 浅野委員、芦田委員、一守委員、岡村委員、迫田委員
竹中委員、長谷川委員、藤井委員、山根委員

1 開会

高校教育課長あいさつ

2 委員紹介

3 岡山県産業教育審議会及び第1回の審議会概要について

4 委員長、副委員長

- ・委員長 山根康史委員
(岡山県立高松農業高等学校長、岡山県高等学校産業教育連絡会会長)
- ・副委員長 迫田実俊委員(岡山県立備前緑陽高等学校教頭)を選出

5 議事

(1) 実施済みアンケートの分析について

- ・広島大学の杉村教授が実施した「高校生の進路選択に関するアンケート」と県教育委員会が実施した「高校生活に関する意識調査」の分析結果について審議
- ・広島大学大学院人間社会科学教授杉村和美氏はリモートによる参加

(2) 調査研究事項について

- ・諮問事項に関する二つの視点について、職業系学科の現状と課題や今後の在り方を議論

(3) その他

- (4) 第2回専門委員会は、令和3年5月に開催予定

6 その他

7 閉会

迫田副委員長あいさつ

第26期岡山県産業教育審議会専門委員名簿

任期 令和2年12月22日から令和3年12月21日まで

氏名	所属・職名	備考
浅野佐江子	岡山県立興陽高等学校指導教諭	家庭科
芦田 忠大	岡山県立笠岡工業高等学校指導教諭	工業科
一守 克己	岡山県立玉野光南高等学校教諭	情報科
岡村みちる	岡山県立倉敷中央高等学校教頭	看護科
迫田 実俊	岡山県立備前緑陽高等学校教頭	総合学科
竹中 誠	倉敷市立倉敷翔南高等学校教頭	福祉科
長谷川博之	岡山県立倉敷商業高等学校主幹教諭	商業科
藤井 清	岡山県総務部総務学事課総括参事	行政 (私立高校関係)
山根 康史	岡山県立高松農業高等学校長 岡山県高等学校産業教育連絡会会長	審議会委員 (委員長)

9名（五十音順）

第26期岡山県産業教育審議会建議の項目（案）

諮問事項「社会の変化に対応する職業系学科の在り方について」

はじめに

I 職業系学科を取り巻く背景

1 職業系学科を取り巻く環境の変化

- (1) 国や県の動向
- (2) 産業の変化
- (3) 就職環境の変化

2 職業系学科に求められる人材

II 職業系学科の状況

1 高校生の進路状況等

2 高校の受け入れの状況

3 特色ある取組

III 今後の職業系学科の在り方

1 職業系学科共通の課題に対して

- (1) 地域や産業界等のニーズに応じた職業人の育成
- (2) 質の高い職業教育の推進
 - ① 教員の資質・能力の向上
 - ② 教育内容・指導方法等の工夫・改善
 - ③ 産業教育施設・設備の充実

2 各職業系学科の在り方

- (1) 農業に関する学科
- (2) 工業に関する学科
- (3) 商業に関する学科
- (4) 家庭に関する学科
- (5) 看護に関する学科
- (6) 情報に関する学科
- (7) 福祉に関する学科
- (8) 総合に関する教育

第26期岡山県産業教育審議会の審議会・専門委員会の開催及び審議内容（案）

	審議会	専門委員会
R2 10/20	<p>議事（1）審議主題及び審議の進め方について （2）審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諮問理由2つの視点とアンケート分析について意見聴取 	
12/22		<p>議事（1）実施済みアンケートの分析について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から学校の実態を意見聴取 ・杉村教授アンケートの追加項目の有無について意見聴取 <p>（2）調査研究事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会、部会へ事前調査依頼したデータを基に、職業系学科の現状、課題、今後の在り方について意見聴取
R3 2/4	<p>議事（1）報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回専門委員会 ・実施済みアンケートの分析 <p>（2）審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化に対応する職業系学科の在り方 ・建議の項目 ・審議会・専門委員会の開催及び審議内容 	
5月		<p>議事（1）報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回審議会 <p>（2）審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建議の項目から骨子案（中間まとめ）に向けた議論
7月	<p>議事（1）報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回専門委員会 <p>（2）審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建議の骨子案について ・審議の中間まとめとして議論 	
8月		<p>議事（1）報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回審議会 <p>（2）審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建議（案）の起草について ・建議（案）に向けた議論
10月	<p>議事（1）報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回専門委員会 <p>（2）審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建議（案）について ・建議に向けた最終確認 	
11月	建 議	